

# 久留倍官衙遺跡整備ニュースvol.6

平成28年9月 三重県 四日市市教育委員会



正殿建設の工事風景

みなさん、お久しぶりです。

大矢知町にある国史跡「<sup>くろべかnerg</sup>久留倍官衙遺跡」は古代の<sup>あさけくnerg</sup>朝明郡衙（現代でいう市役所）と考えられる遺跡で、古代の四日市の歴史を知るのに重要な遺跡なんだ。今年は、政庁の中心施設、<sup>せいいでん</sup>正殿の建設工事を進めているよ。この建物は、<sup>つく</sup>造られた当時の位置に建てられているんだ。だからどの場所にあったか、行けばわかるようになっているよ。でも、建物は、復元じゃないから当時の建物っぽく造っているんだ。公園を<sup>おとす</sup>訪れた人たちの<sup>きゆうけい</sup>休憩場所になるよ。

当時のままの建物として<sup>ふくげん</sup>復元するのは、<sup>はっきゃくもん</sup>八脚門だよ。この工事はこの次（29年度予定）になるよ。



# 久留倍官衙遺跡の建物表示について



八脚門は当時の姿を推定し復元



復元イメージ

今回は、久留倍官衙遺跡の建物表示について説明します。

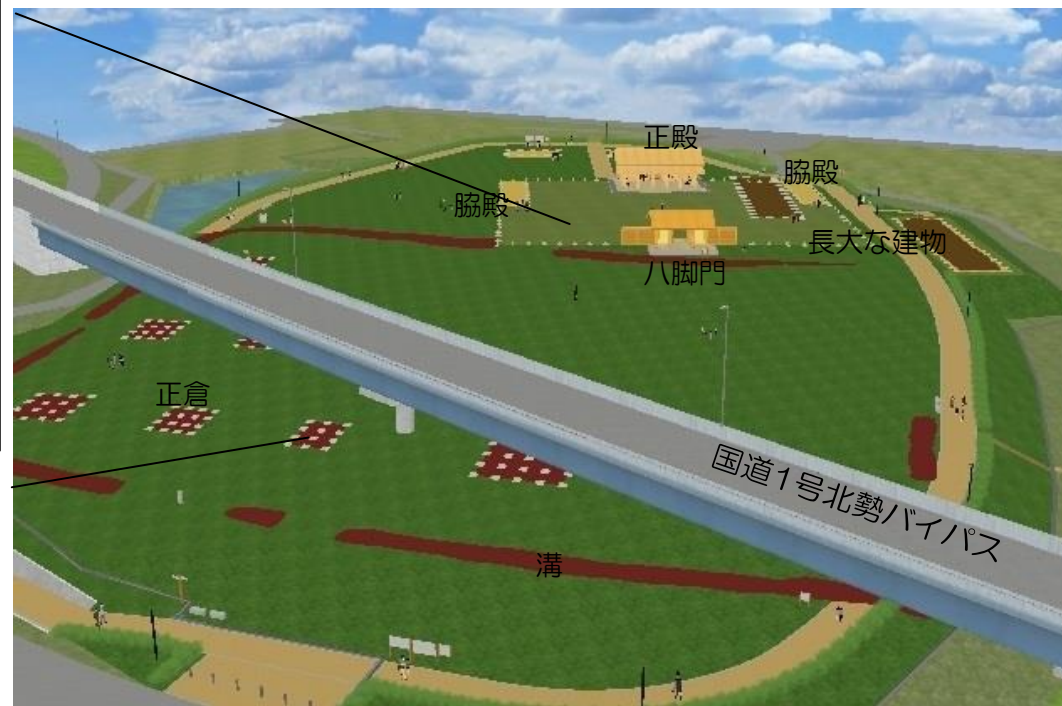
史跡公園には、訪れた人がどのような遺跡だったのかが分かるように、調査で見つかった代表的な建物を表示します。発掘調査の遺構図をもとに公園整備の計画が立てられました。

見つかった官衙の建物の時代は3期に分かれます。Ⅰ期（7世紀後半～8世紀前半）は政庁を構成する正殿・八脚門・脇殿、Ⅱ期（8世紀中葉～後半）は長大な建物群、Ⅲ期（8世紀後半から9世紀末）は正倉群と囲む溝になります。

公園整備のイメージ図

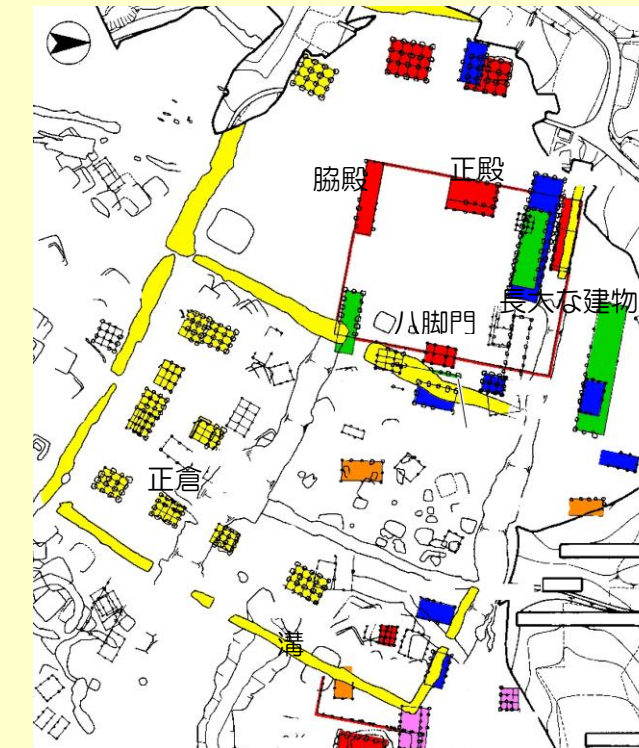
Ⅰ期の建物の、八脚門については、当時の姿を推定して復元します。正殿は、位置は当時のままですが、建物は正殿っぽく造った休息所になります（立体表示）。政庁の塀や脇殿は、柱の位置が分かるように約40cmの高さの柱を立てます（半立体表示）。

Ⅱ期・Ⅲ期の建物については、地面に柱を表現して建物の大きさや位置が分かるようにⅡ期・Ⅲ期の色を変えて表示します。（平面表示）。



久留倍官衙遺跡の発掘調査遺構図  
遺構は3つの時期に分かれます。

Ⅰ期 Ⅱ期 Ⅲ期



# 久留倍官衙遺跡の正倉について

正倉群の柱の跡の写真です。何棟もの建物が並んで建てられています。下のような床のある倉が建てられていたと考えられます。

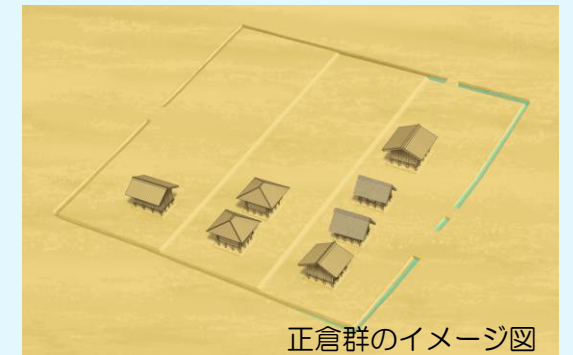


1列に並ぶ建物群



正倉のイメージ図

正倉には、税として納められた租（収穫の3%の米）を入れました。基本的にはこの米は、もしもの時のために保存されました。いっぱいになると新しい正倉が建てられます。こうして正倉群ができました。



正倉群のイメージ図

# 壬申の乱と朝明郡

壬申の乱の時に大海人皇子（のちの天武天皇）は、朝明郡家に立ち寄っています。



壬申の乱は、大化の改新を行った中大兄皇子（天智天皇）の弟である大海人皇子と、子である大友皇子が次の天皇をめぐる争った戦いです。

672年、天智天皇がなくなり、今の暦で7月27日に、大海人皇子は、わずかなおともをつれて、吉野を逃れて自分の領地がある美濃国（岐阜県）に向かいます。伊賀に入り、鈴鹿山脈を越え、土砂降りの雨の中、三重郡へ到着します（7月28日）。



大海人皇子行軍イメージ

寒さのため、小屋を1棟焼いて体を温めました。その翌朝（7月29日）大海人皇子は、朝明郡の迹太川のほとりで雲の間から現れた太陽を仰ぎ見て、戦いの勝利を祈りました。その後、味方の兵3000人が不破（岐阜県）を完全にふさいだことを伝えられ、大海人皇子は大変喜びました。

戦況は一進一退を繰り返しますが、最終的には大海人皇子が勝利し、即位して天武天皇となります。



大海人皇子迹太川御遥拝イメージ



## 久留倍官衙遺跡出土遺物

久留倍官衙遺跡から出土した土器を並べた写真です。官衙関係の遺物として特徴があるのは、丸印の<sup>えんめんけん</sup>円面硯片です。硯が出土したことから、文字を書く仕事をしていたことがわかります。大変貴重な遺物です。その右下の土器には、墨がついていました。蓋として使っていたものを硯に転用したものです。<sup>てんようけん</sup>転用硯と呼んでいます。

出土した円面硯片から復元した円面硯



### 今年参加できる催し

【久留倍官衙遺跡学習講座】 場所 あさけプラザ

時間 10:00~11:30 (10月22日のみ 10:00~12:00)

申込先 TEL059-363-0123(あさけプラザ)

10月 1日(土)「久留倍官衙遺跡の成立前後」

10月 8日(土)「久留倍官衙遺跡はなぜ役所か」

10月15日(土)「壬申の乱と久留倍官衙遺跡をめぐる一考察」

講師：四日市市教育委員会社会教育課職員

10月22日(土)親子ワークショップ(参加費1000円、定員12組(二人一組))

講師：柵山咲子さん(フードコーディネーター)・四日市市教育委員会社会教育課職員

「平安時代のお菓子！亥の子餅をつくろう」

持ち物：エプロン、三角巾、タオル、ふきん、作ったお菓子を持ち帰るための入れ物

\*10月~12月

久留倍官衙遺跡出土品展

奈良時代を中心に、出土品を展示

します



お問い合わせは、  
下記の教育委員会  
社会教育課まで

### 【久留倍遺跡まつり】

日時 11月6日(日) 13:00~16:00

開催場所 四日市市文化会館第2ホール

内容 講演 四日市市教育委員会社会教育課職員

講演 皇學館大学教授 岡田 登さん

舞台劇 古代史ドラマ「壬申の乱」

出演 四日市市立朝明中学校第1学年歴史グループの皆さん